



# 防災訪問（住宅防火診断）で チェックするところは…？



防災訪問ではつぎのようなことについて確認しアドバイスをします。

## こんろ火災の防止には

- こんろまわりを整理整頓している。
- グリル内をこまめに清掃している。
- Siセンサーコンロを使用している。
- ガスホースが劣化していない。
- 調理中はその場を離れない。
- 着衣着火に注意している。

## たばこ火災の防止には

- 灰皿に吸い殻がたまっていない。
- 捨てる前に水に浸すなどしている。
- 寝たばこをしていない。
- 不意に落下する灰に注意している。
- 屋外でポイ捨てをしない。
- 灰皿まわりを整理整頓している。

## 電気火災の防止には

- 電気コードがカーペットや家具等の下敷きになっていない。
- たこ足配線をしていない。
- コンセントやプラグにホコリがたまっていない。
- 古い家電製品や電気コードを使用していない。
- 電気コードをきつく束ねたまま使用していない。

## 放火火災の防止には

- 家の周囲を整理整頓している。
- ごみは指定された日時・場所にだす。
- 家の周囲は夜間でも照明等で明るい。
- 車等のカバーには「防災製品」を使用している。
- 物置や車庫は施錠している。
- 共同住宅の廊下などに雑物を置かない。

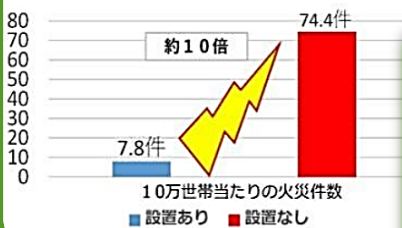
## 住宅用火災警報器

- 台所、寝室、階段（階段には2階以上に寝室がある場合などに設置）に住宅用火災警報器を設置している。
- 作動するか定期的に点検している。
- 10年を目安に交換している。

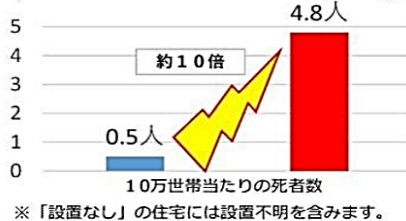
## ストーブ火災の防止には

- ストーブの上に洗濯物を干さない。
- ストーブの周囲に燃えやすいものがない。
- ストーブを使用したまま寝ていない。
- 火をつけたままで給油していない。
- ストーブの近くでスプレー缶を使用しない。
- 電気ストーブは使用しない時にプラグを抜く。

住宅用火災警報器の設置有無による火災件数の比較  
(平成23年～令和2年の10年間平均比較(横浜市))



住宅用火災警報器の設置有無による火災死者数の比較  
(平成23年～令和2年の10年間平均比較(横浜市))



※「設置なし」の住宅には設置不明を含みます。

### 要点！

住宅火災の出火原因で例年多いのが「**こんろ**」「**たばこ**」「**放火**」です。近年は電気機器や電気コードが原因の「**電気火災**」が増加していますので注意が必要です。また、住宅用火災警報器（住警器）の未設置の住宅では設置している住宅よりも火災件数、死者数ともに**約10倍**となるため、設置・点検・交換を心がけましょう。消防署では**住警器の取付支援**も行っていますので、お気軽に**予防係**までお問い合わせください。

出典：横浜市H.P. 住宅用火災警報器